

20m08H発表記録

学びのための指導・支援のあり方



各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (学びのための指導方法のあり方)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ (生徒に考えさせ意見を出し、人と関わりながら学ぶ)

- ・生徒へ関係的に問いかける
- ・人と関わりあう場所
- ・生徒の発言を引き出させる

■肯定的 web (授業で意見が出ない? 生徒が言い出し、意見を交わす安全な場の作り方)
まとめ (安全に意見を交わす場所を作り、意見が交わる)

- ・安心して発言できる場を作る
- ・生徒に考えさせる時間を作る
- ・生徒に意見を言わせる
- ・意見を大々にする

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

■ 生徒の意見は大事であり、その意見を出せる安心な場を作ることが大事。

■否定的 web (コロナ禍で「子供同士の関係性を築く」が難しい状況)
まとめ (コロナの影響において人と関わりあう工夫)

- ・コロナの影響でも仲間とのつながりをつくる
- ・意見を共有できる展示スペースを作る
- ・仲間意識を育てる

■班としての要約

まとめ (生徒の意見を大切に人と関わりながら学ぶ)

- ・環境を作る
- ・人との関わり
- ・生徒の意見

キーワード 10~20 語 明日中に 概念系統図

- ・意見
- ・人との関わり
- ・仲間意識
- ・関係性
- ・コロナの影響
- ・考えさせる
- ・意見を共有
- ・展示スペース
- ・大事
- ・安心な場

2**) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことをのべよ。

■ 学習環境を作ることとはとても大事だと感じました。

学習環境としての時空間



各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (学習環境としての時間)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ ()

- ・子ども達が能動的に学習する方法も探る
- ・本物の楽しい学習形態より子どもが学びやすい環境を創る方がよい
- ・人の考えにおいて良いとされるもの悪いとされるものの授業が一層かはあやうない

■肯定的 web (<http://seannan.jp/publics/index/18/>)

まとめ ()

- ・各教科のエリアにある教科教室へ移動し、そこで授業を受けることにより生徒が時間割も意識しながら自ら教室へ移動することにより授業参加の態度が能動的になる。

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

- ただその内容について言及したり、押し下げずのびやかな内容を学べたことなど事述べるのではないが提案しているところがあつたので自分も参考にありたいと思つた。

■否定的 web (肯定的 Web と同じ)

まとめ ()

- ・全学年生徒が毎時間移動すること。

■班としての要約

まとめ ()

- ・教室の中にもいろいろな学習形態やスタイルが存在する
- ・どの教育方法でもメリット、デメリットが存在する

キーワード 10~20 語 明日中に 概念系統図

- ・学習環境・ホッパル・ホッパル・リッパル型
- ・ラーニング型、特別教室型、教室型、学習型、リッパル型
- ・協同作業・団結力・モジュラー型

2**) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことをのべよ。

- ただ与えられたテーマについてまとめるだけでなく、教師としての力に身につけたいので、テーマが何か提案することがないかと考えてみた。

教育評価としての実践記録



各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ 教育評価論としての実践記録

■テキスト(新しい時代の教育方法)

まとめ ()

「実践記録をどのように評価するか」

勝田 守一

(「実践記録」への批判を意識して書かれた)

- ・生活記録であり問題や矛盾、解決方法を含め人間としての教師の生活感を反映させたもの
- ・主観的・感性的な認識を理論的に抽象化ではなく形式化あることを通して事実を語るもの
- ・仲間のかかわり共有財産となることが目指される

■肯定的 web ()

まとめ ()

・教育的鑑識眼

・教育の世界を見分けることは芸術の世界での評価とよく似ている

→ ・質的に評価

・条件を満たせば良いものではない(単なる好みでもない)

・見ただけではわからない重要なことを見分けることが大切

・どんな目をつけるかを知らなければ経験が必要

2) 全体発表(模擬授業)を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

■ 実践記録の使い方は様々である。

しかし、共有することで研究が捗ることは間違いないと感じた。

■ 5段階班の自己評価 ()

■否定的 web ()

まとめ ()

- ・「ルール」は教育方法を明確化することに意義を説いた。予期せぬ成果が現れたときには
- ・研究を十分に行い、教育方法や目標自体を改良していくことが重要だと反論。

■班としての要約

まとめ ()

・ 実践記録についての考え方は

人それぞれである。

いろいろな方の意見を見て自分の考えを

キーワード	10~20 語	明日中に	概念系統図
・	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・

2**) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことをのべよ。

■ 昔に使われていた教育評価論でも今にあてはめると(良いところをつまみ取り入れる)も良い案ではないかと感じた。

ICT活用例



教育方法論 20m 班まとめ (授業者が書くこと)

第 回

(班)

各班ワークシート (模擬授業まとめ)

改善したこと、すべきことを書くこと (指導案の要約ではない)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (学びのための指導・支援)

■ 学年・単元・本時の内容 (提示する教材)

環境づくりが重要

■ 目標、内容・指導の概略等

生徒自身に考えさせて、生徒の意見を大々にする。

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

- 生徒に考えさせることが重要なのはもちろんなのだが、環境によって意見の出てきやすさが変わるので、環境づくりが大々だと思った。

2*) 今日の授業で、ポイントと思ったことをのべよ。

- 意見を出しやすい環境を。

(自分)

■ 教材・板書計画、評価の観点・規準等

Word, Power point.

■ 工夫した点、出典等

メリットとデメリットの両方をまとめた。

■ 模擬授業を実践してみて感じたこと、わかったこと

実現は難しいかもしれないが、利点も数々あるため、少しずつでも実現できれば、より利便性が上がると思う。

2**) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことをのべよ。

- 教師用の共有サイトという考え方はおもしろいと感じた。
世界中の教師達の実践方法・経験からより良いと感じたものを拾って選択すれば、質の向上が見込める。

ICT活用例



⏮ ⏪ ⏩ ⏭

General

03:47:41

制御を要求

退出

山崎保存 ● D | 📄 🔍 🗑️ 🔄 🌐

ファイル タブ ホーム 挿入 デザイン レイアウト 参考資料 差し込み文書 校閲 表示 ヘルプ 🔍 検索

元に戻す (U)
 元に戻る

M.S. 明朝 (本)
10.5pt

A⁺ A⁻ A
文字拡大 文字縮小 フォントの色

ICT 活用例・
1班 番号 B19030

- 単 元
 - 数学Ⅰ「2次関数」
- テーマ
 - 関数ソフトを利用して最大値・最小値を見つける
- ICT活用のねらい
 - 課題に対する自分の考えをタブレットパソコンを利用し整理する力をつける。
 - グループ活動において、自分の考えと他者の考えを比較・検討しながら、新たに考えを構築すること。
- ICT活用例

学習内容	指導過程・学習活動	指導上の留意点
ICT活用の場面 (電子黒板を使って考えの共有)	ICT活用の手順 ○2次関数において、定領域が与えられるときの最大値・最小値を求める。 ○計算によって軸・頂点を求めることと併行してタブレットパソコンを利用してグラフを描き、グラフから最大値・最小値を読み取り、実際の計算結果と比べで確認する。 ○②モデルを使って長方形を作るとき、長方形の面積が最大となるのは、縦・横の長さがそれぞれ何cmのときかを実際に試して予想する。 ・グラフを利用するための立式。 ・グラフをタブレットパソコンで描き写す。	○最初に復習を行い、グラフの理解をする。 ○タブレットは2人で一つも共有しグループでの表現を高める。

1/2 ページ 572 文字 日本語 挿入モード
フォント 罫線 表 - 100%

+4

酒

塚

開

坂

北

参加者

招待を共有

この会議で (9人)

全員をミュート

多

上

庄

酒

坂

開

北

各班ワークシート (模擬授業まとめ)

改善したこと、すべきことを書くこと (指導案の要約ではない)

1) (班内) まとめ
 班のテーマ (ICT活用)

■学年・単元・本時の内容 (提示する教材)

・数Ⅰ「2次関数」

■目標、内容・指導の概略等

・関数ソフトを利用して最大、最小を見つける。

・課題に対する自分の考えをタブレットパソコンを利用し整理する力をつける。

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

■ ICTを使用することでのどのような利点があるのか、詳細を伝えることができた。

2*) 今日の授業で、ポイントと思ったことをのべよ。

■ ICTを活用することで自分の考えと他者との考えを比べることができる。

■教材・板書計画、評価の観点・規準等

・グループ活動において、自分の考えと他者の考えを比較、検討しながら、新たに考えを構築できているかを評価の規準とする。

■工夫した点、出典等

・「ICT活用実践事例集」

■模擬授業を実践してみて感じたこと、わかったこと

2**) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことをのべよ。

■ ICTを活用することでグラフの確認をしたり、自分の考えを他者と共有できるため、ICTの利点を活かして授業に取り組みすることで授業の質が上がると思った。

確認問題07



各班ワークシート (確認問題まとめ)

1) (班内) まとめ
各問のポイント

■問1 日本カリキュラム学会が2001年にまとめた
カリキュラム編成の原理

① 学問中心カリキュラム

② 社会中心カリキュラム

③ 人間中心カリキュラム

■問2 アプリケーションとしての学び

学び → 模倣ではなく文脈に合わせた形で知識を

↓
関係構築により知識を

↓
引用、交流 (判断、意見)

↓
が行われる

→ 批判や反論を自己の言葉で対抗

2) 問題全体を通して見て、全体のポイントと
思ったことをのべよ。

■ 21世紀に入ってから日本の教育
についての見方

2*) 問題全体を通して見て、気づいたことをのべ
よ。

■ 学ぶ内容が高学化したことにより
一人で学習できない生徒が続き
他をフォローしようとする動きが見える

■問3 有隣者博

3つの緊張関係の中に成立

・「教師と子ども」の間に
・「子どもと子ども」
・「教師と教材」
・「子どもと教材」
「衝突」や「葛藤」
が生じるような緊張関係
とった授業が良い
ということ

■問4 社会文化的アプローチ

「人間の発達には、主に社会文化的な影響の
るが、他者との共同行為を通しての
文化的道具の獲得と媒介に基づく
社会的相互行為過程として捉えらる」

2**) 確認問題に取り組んでみて、確認問題に取り
組む時間や、問題内容と発表班との関係などにつ
いて、気づいたこと、感じたことをのべよ。

■ 日本の教育の思想が変わっていく

スピードと、
現実に変わっていくスピードの差が
大きすぎて感じた